

大石田そば街道

おSOBA
に
珈琲

～100年の歴史を～
越えて

大石田そば街道振興会
協力：銀座 カフェパウリスタ

漫画で読む

「おSOBAに珈琲」
誕生ストーリー



はあー！
美味しかった！



そうだと
SNS に
投稿して！



たしか
来迎寺に來つて
いう特産の品種
なんだよねー

大石田の
お蕎麦って
最高！
味も香りも



あれ？



大石田そば街道

おSOBA
に
珈琲

~100年の歴史を~
越えて

おSOBAに
... 珈琲？



大石田名物の
香り高い蕎麦
『来迎寺在来』に

ブラジル
コーヒーを
合わせて
抽出した
大石田の
新名物
それが…



珈琲
おSOBANAに



なんか
変な
店主キター！

えと……
大石田といえば
もちろん
お蕎麦ですけど
でも…

そう！

大石田といえば「蕎麦」！
とくに『来迎寺在来』は
寒暖差が大きい大石田の
気候が育んだふくよかな
香りと味わいが絶品だ！

毎年新蕎麦の季節になると
待ちわびた蕎麦好きが遠方
から食べにくるんだよ
大石田に来ないと
来迎寺在来は味わえない
からね！

確かに
美味しかった
です！

でもどうして
お蕎麦と
珈琲を
合わせたん
ですか？

今から
約100年前

大石田出身の
一人の青年が

『来迎寺在来』の
栽培が広まったのと
同じ頃

南米に向かう
船に乗り込んで
いたことから
物語は始まる



すずき ていじろう (27)
鈴木 貞次郎 (27)



後の人生を
大きく変える
出会いを果たすので
あった——

おや
君も
日本人
かい?

1905年
(明治38年)
大石田出身の青年
鈴木貞次郎は
日本から
南米を目指す
船舶の上で



日本人の
移住計画を
実現させるため
ブラジルに行く
途中だ
よろしく

僕は
水野龍

みずの りょう (47)
水野 龍 (47)



さらに鈴木は
日本移民の
見本となるべく

1年間自ら
サンパウロ州の
コーヒー農園で
現地の人々と
一緒に働いた

水野の
粘り強い交渉や
鈴木ひたむきな
功績が認められ

翌年には
793名を乗せた
第1回
移民船「笠戸丸」が
サントス港に到着

そして船を迎えた
人物こそが
サンパウロ市
移民収容所の
書記となっていた

ようこそ
ブラジルへ！

鈴木貞次郎だった
というわけだ

1907年（明治40年）
ついに
ブラジル移民契約が成立

一方
移民事業が
認められた水野は

ブラジルの
コーヒーを
日本でも
広めてほしい

任せて
ください！

サンパウロ州政府から
東洋での
ブラジルコーヒーの
宣伝販売権を
与えられる

グッ

そうして
ブラジルの香り高い
コーヒー豆を
日本へ運びオープンした
カフェこそが

数々の著名人に
愛されたことで
知られる
銀座の名店
『カフェーパウリスタ』

※銀座カフェーパウリスタ創業店

「おSOBAに珈琲」は
特別な焙煎を加えた
「来迎寺在来」と

カフェーパウリスタが
厳選した
ブラジルコーヒー豆の
オリジナルブレンド
なんだ



蕎麦と
珈琲の
豊かな
香りとコク

.....
おいしい！



お持ち帰り用
もあるので
よかったら
どうぞ

パッケージ
かわいい!!
お土産に
いいですね



おSOBAに
珈琲は

鈴木さんと
水野さんの
努力の賜物
ですね

あとは「最高の
蕎麦を打てる
私の腕ありき」と
SNSに
あげといてくれ

それが
一番言いたかった
んじゃないですか



*soba
Rakkoji-zaibai*



*Teijiro Suzuki
1879-1970*



Monument

